第二：身代わり

キリストは私たちに代わって死んで下さった。

神は罪ある人々を罰せずにはおれないので、神はその怒りを、私たちの代わりに、イエスの上に注ぎかけました。イエスは正に私たちの身代わりとなりました。イエスは私たちの罪のために罰せられ、私たちの当然受けるべき、その死を受けられました。

「しかし彼は、私たちのそむきの罪のために傷つけられ、私たちの不義のために砕かれた。彼がこらしめを受けることによって、私たちに平安をもたらした。」 (イザヤ書53章5節)

「そして三時ごろに、イエスは大声で叫んで、『わが神、わが神、どうして私をお見捨てになったのですか。』と言われた。」 (マタイ伝27章46節)

神は私たちの代わりに、ご自分の一人子、イエスを罰せられた。

第三：しょく罪(和解)

キリストの死は、私たちの罪を完全にあがなったので、神の怒りと罪に対する処罰を清算しました。

イエスは私たちの罪の身代わりに死んで下さったので、神の罪に対する処罰は清算されました。イエスは、すべての私たちの罪をあがなわれたので、その清算して下さったイエスを受け入れる者は、神の罪に対する永遠の怒りを受けなくてすみます。イエスがすべての人の罪の代価を支払われたのです。

「しかし、彼を砕くことは主のみこころであり、主は彼を悩まされた。彼(神なる父)が、自分(イエス)の命を、罪過のためのいけにえとするとき・・・・・・彼は自分の魂の激しい苦しみのあとを見て満足する。」 (イザヤ書53章10ー11節)

「イエスは酸いぶどう酒を受けられると、『完了した。』と言われ、頭をたれて、霊をお渡しになった。」 (ヨハネ伝19章30節)

「完了した」ということばは、キリストの時代にローマ帝国で債務が全部支払われた時、事実使われていました(ケトル辞書<Kittel>、第8巻、57、60ページ)。イエスが息を引き取る直前に、このように叫んだのは、イエスは私たちの罪に対するすべての支払いを完了して下さったことを意味します(参照聖句、コロサイ人2章13ー14節)。

このようにイエスはご自身の死によって、私たちの罪の代価を支払い、神と私たちの仕切りの壁を取り除いて下さいました。

どうしてイエスの死は、私たちのすべての罪を支払われたばかりではなく、あらゆる時代のすべての人の罪をも支払うことができたのでしょうか。 それは次に説明しましょう。